



2025年

子供を取り巻く環境の変化・・・情報量の増加

10～15年前からスマートフォンが普及し子どもたちへの情報量や外部からの感覚刺激が圧倒的に増えてきました。刺激の多い環境下で育った子どもたちは、刺激の少ない環境下ではつまらないと感じ、**集中力が低下したり物事に対してすぐ飽きたり、自制心の発達や愛着にも悪影響を及ぼします**。幸い園では、広い畑で自然に触れる機会が日常的にあり、デジタル機器に触れる時間はほとんどありません。

これからの子どもに必要なことは**チャレンジ精神と失敗を恐れない折れない心**です。周囲の大人との**愛着形成により自己肯定感を高めて**たくさん失敗させましょう。友達とのトラブルも人間関係を学ぶ大事な経験です。側にいる大人が「大丈夫だよ。もう一回やってみよう。」「一緒に考えよう。」と援助する、「いつでもあなたの味方だよ。」という気持ちを持つことで子どもたちの折れない心は育っていきます。デジタル機器に触れる時間を、絵本を読み合う親子の触れ合いの時間と変えてみてはいかがでしょうか。



安全だより

保健だより

*乳幼児を連れての避難方法

災害発生、乳幼児を連れての避難は想像以上に大変なものです。乳幼児の安全を確保しながら行動できるように普段から備えておきましょう。

避難に持っていく**必需品リスト**を作っておくと安心です。哺乳瓶など洗えない場合も想定し使い捨ての紙コップなどで代用することも考えておきましょう。

避難場所は**避難所、在宅避難、車中避難**が挙げられますがそれぞれの場面で想定しておきましょう。

車中避難はメリットがたくさんありますが燃料が充分ないと快適に過ごせません。日頃から**燃料満タンを習慣**にしておきましょう。家族で話し合う時間を作り、万が一のために備えをしておきましょう。

*目の愛護デー

10月10日は目の愛護デーです。文部科学省が毎年行っている学校保健統計調査で2024年日本の子供の裸眼視力が1.0未満だった子どもの割合は小学生（36.84%）、中学生（60.61%）、高校生（70.06%）と高く近視の増加、**視力の低下が懸念**されています。これはスマートフォンやタブレット、携帯ゲームの普及で近くを見る時間が長くなっていることが要因にあると考えられています。**近視**は遠くの物が見えづらくなるだけでなく、網膜剥離、緑内障といった**目の病気のリスクが高**くなります。

近視の進行を防ぐには

- ・ **近くのものを見る時は30cm以上離す。**
- ・ **30分に1回は20秒以上目を休める。**
- ・ **屋外で過ごす時間を増やす。**

などが有効とされています。出生後からデジタル機器にさらされる今の子ども達の大切な目を、大人が守ってあげましょう。